



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 鈴茂器工株式会社  
 コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 鈴木 美奈子  
 (氏名) 志賀 融  
 TEL 03-3993-1371

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,972	△11.3	48	△72.8	48	△72.9	29	—
2020年3月期第1四半期	2,223	11.5	177	14.5	177	15.9	△37	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 38百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.57	—
2020年3月期第1四半期	△5.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	13,798	11,564	83.7
2020年3月期	13,830	11,654	84.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 11,551百万円 2020年3月期 11,641百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。合理的な予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,480,000 株	2020年3月期	6,480,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	14,979 株	2020年3月期	13,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,465,433 株	2020年3月期1Q	6,477,055 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、経済活動が停滞し、景気は大きく下振れました。全体的には、企業業績や雇用環境は悪化しており、更には感染拡大第2波が懸念される等、先行きにも不透明感が残る状況です。個人消費についても、緊急事態宣言解除後の外出自粛の緩和や県外移動の自粛は解除されたものの、力強い回復は期待しづらい状況となっております。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）の売上高合計は、19億72百万円（前年同四半期比11.3%減）と前年同四半期を下回る結果となりました。国内・海外別の売上高の内訳は、国内売上高が15億63百万円（同4.4%減）、海外売上高が4億9百万円（同30.4%減）となりました。国内売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外食や小売業を中心とした主要顧客における顧客店舗数の減少や設備投資計画の見直し、および企業活動の制限等の影響があったものの、事業者や最終消費者における衛生意識の高まりにより、衛生資材関連の販売が拡大したため、売上高は前年同四半期に比べ微減となりました。一方、海外売上高は、多くの国において都市閉鎖、外出制限および渡航制限等が実施され、物流網の停滞や日本食を扱う外食や小売業を中心とした主要顧客における設備投資意欲減退の影響を受け、特にアジア地域における販売が落ち込み、売上高が前年同四半期を大きく下回りました。

#### 第1四半期連結累計期間の国内海外別売上高

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		増減額 金額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
国内	1,634	73.5	1,563	79.2	△71	△4.4
海外	588	26.5	409	20.8	△179	△30.4
合計	2,223	100.0	1,972	100.0	△250	△11.3

利益面につきましては、売上原価および販売費及び一般管理費が前年同四半期を下回ったものの、減収による影響が大きく、営業利益は48百万円（同72.8%減）、経常利益は48百万円（同72.9%減）となり、前年同四半期を大きく下回る結果となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、29百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失37百万円）となり、前年同四半期を上回る結果となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ31百万円減少し137億98百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億15百万円減少した一方で、たな卸資産が93百万円増加し、有形固定資産その他（純額）に含まれる建設仮勘定が58百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ58百万円増加し22億33百万円となりました。これは主に、買掛金が1億81百万円増加した一方で、未払法人税等が1億8百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し115億64百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により1億29百万円減少したこと、および親会社株主に帰属する四半期純利益により29百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界的な消費の落ち込みや生産活動の停滞等により、世界経済が減速し、予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましても、国内外の外食・小売業・食品工場を中心とした取引先における設備投資計画の見直しや企業活動の停滞等により、足元の業績に影響がございました。特に国内の回転寿司・レストラン・米飯ファストフード等の外食業態につきましては、緊急事態宣言の解除後も、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況が続いており、需要の回復がどこまで進むかは不透明な状況です。また、海外においては、一部の地域において経済活動が再開しているものの、需要の回復は限定的であり、日本食を扱う外食や小売業の設備投資意欲も不透明な状況が続いております。

このような状況の下、2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く中で、業績に与える影響度やその期間が見通せず、業績予想の適正かつ合理的な見積りが非常に困難と判断し、現段階では引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,603,707	6,387,711
受取手形及び売掛金	1,256,943	1,266,776
たな卸資産	1,808,445	1,901,907
その他	84,652	108,842
流動資産合計	9,753,748	9,665,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,386,293	1,369,472
土地	1,125,607	1,125,607
その他(純額)	289,026	366,413
有形固定資産合計	2,800,927	2,861,494
無形固定資産	208,309	203,837
投資その他の資産		
投資有価証券	496,516	507,919
繰延税金資産	396,576	392,113
その他	182,637	176,211
貸倒引当金	△8,680	△8,680
投資その他の資産合計	1,067,049	1,067,564
固定資産合計	4,076,287	4,132,895
資産合計	13,830,036	13,798,133

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	244,255	425,370
未払法人税等	141,609	33,523
賞与引当金	168,906	146,470
その他	555,706	555,738
流動負債合計	1,110,478	1,161,101
固定負債		
繰延税金負債	777	857
役員退職慰労引当金	7,425	7,760
退職給付に係る負債	995,657	1,007,596
その他	60,721	56,334
固定負債合計	1,064,581	1,072,548
負債合計	2,175,060	2,233,650
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,154,418	1,154,418
資本剰余金	982,960	982,960
利益剰余金	9,606,827	9,507,066
自己株式	△22,043	△22,152
株主資本合計	11,722,162	11,622,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,215	84,560
為替換算調整勘定	△2,388	△9,619
退職給付に係る調整累計額	△150,657	△145,497
その他の包括利益累計額合計	△80,831	△70,556
非支配株主持分	13,644	12,747
純資産合計	11,654,975	11,564,482
負債純資産合計	13,830,036	13,798,133

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,223,278	1,972,677
売上原価	1,173,469	1,083,014
売上総利益	1,049,808	889,663
販売費及び一般管理費	872,730	841,501
営業利益	177,077	48,162
営業外収益		
受取利息	316	449
受取配当金	1,240	708
受取保険金	—	1,000
その他	1,072	497
営業外収益合計	2,630	2,655
営業外費用		
手形売却損	13	10
売上割引	484	220
為替差損	1,067	28
譲渡制限付株式関連費用	—	1,790
持分法による投資損失	—	546
その他	453	29
営業外費用合計	2,018	2,625
経常利益	177,689	48,191
特別損失		
役員特別功労金	150,000	—
特別損失合計	150,000	—
税金等調整前四半期純利益	27,689	48,191
法人税等	65,029	18,736
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,339	29,454
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	277	△108
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37,617	29,563

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,339	29,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,462	12,344
為替換算調整勘定	△2,585	△8,018
退職給付に係る調整額	4,883	5,160
その他の包括利益合計	△35,164	9,486
四半期包括利益	△72,504	38,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72,433	39,838
非支配株主に係る四半期包括利益	△70	△897

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。